

第3回安城市新美南吉絵本大賞審査員名簿(案)

1次審査 おとなの部

(いとう よしあき) 伊藤 義明	子どもの本専門店「花のき村」店主
(かとう なつこ) 加藤 なつ子	読書グループ「紙芝居の会」所属 「日新堂書店」勤務
(すぎうら へいいち) 杉浦 平一	読書グループ「南吉朗読ででむし会」代表
(つかはら かずえ) 塚原 和江	安城市図書館協議会委員 読書グループ「おはなしどんどん」所属
(つづき ひでゆき) 都築 秀行	読書グループ「新美南吉に親しむ会」代表
(みずの かずこ) 水野 和子	子どもの本活動家・子育て支援家
(やまだ たかこ) 山田 孝子	公募市民

1次審査 子どもの部

(いしはら しん) 石原 紳	学校教育課研究係社会教育指導員 (図書館教育アドバイザー)
(しばた ようこ) 芝田 陽子	安城市立明和小学校校長 安城市小中学校校長代表 (安城市教育研究会図書館教育部校長委員)
(すぎうら たつこ) 杉浦 辰子	地元画家
(すみや かおる) 角谷 薫	地元画家
(はさだ とういち) 羽佐田 透一	愛知県立安城高等学校校長 安城図書館協会会長
【未定】	安城市小中学校教諭(図工・美術科指導員)

最終審査 おとなの部・子どもの部

※次項以降にプロフィールを記載

(くろい けん) 黒井 健	絵本作家	※
(たんどう ひろふみ) 丹藤 博文	愛知教育大学教授	※
(ますだ よしあき) 増田 喜昭	子どもの本専門店「メリーゴーランド」店主	※
(まつだ もとこ) 松田 素子	絵本編集者・作家	※
(いしかわ よしかず) 石川 良一	教育長	
(よこて けんじろう) 横手 憲治郎	アンフォーレ課長兼図書情報館長	

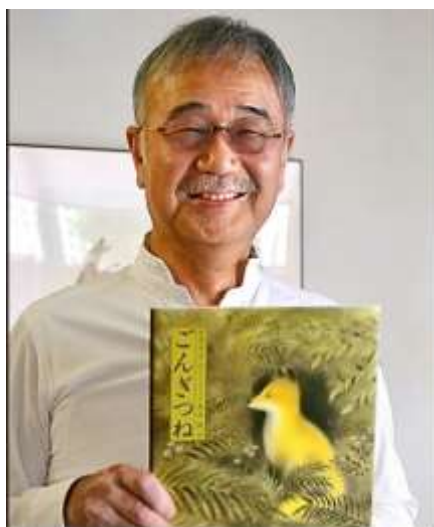
絵本作家／イラストレーター

黒井 健（くろい けん）氏 プロフィール

● 第3回安城市新美南吉絵本大賞 最終審査員

< 安城での実績 >

- (1) 平成24年10月22日（日）
第1回安城市新美南吉絵本大賞 最終審査 審査員
- (2) 平成25年1月19日（土）
第1回安城市新美南吉絵本大賞 表彰式における講演
テーマ「『ごんぎつね』との出会い」 受講者約100名



< 経歴 >

1947年新潟県生まれ。新潟大学教育学部中等美術科卒業。日本児童出版美術家連盟会員。

学習研究社幼児絵本編集部を経て、フリーの絵本作家・イラストレーターとして活動。色鉛筆を用いた繊細な絵柄で知られる。現在200冊以上の絵本等を出版。

2003年「黒井健絵本ハウス」開館。

1983年第9回サンリオ美術賞受賞、2006年『またたびトラベル』（学研、2005年）で第20回赤い鳥さし絵賞受賞。

南吉絵本『ごんぎつね』（偕成社、1986年）、『てぶくろをかいに』（偕成社、1988年）は、他の追随を許さない南吉絵本と評価されている。

『ごんぎつね』の挿絵は、安城市の小学校が採用している小学校4年生の国語の教科書（東京書籍、4年下）にも掲載されている。

愛知教育大学 教授

丹藤 博文（たんどう ひろふみ）氏 プロフィール

● 第3回安城市新美南吉絵本大賞 最終審査員

< 安城での実績 >

- (1) 平成24年10月22日（日）
第1回安城市新美南吉絵本大賞 最終審査 審査員
- (2) 平成29年11月11日（土）
第2回安城市新美南吉絵本大賞 最終審査 審査員

< 経歴 >

1990年東京学芸大学大学院卒業。2008年愛知教育大学教授。2013年から全国大学国語教育学会理事。日本文学協会委員、日本読書学会理事も務める。

研究分野は、日本近代文学・国語化教育学。

著作は『国語教育の未来』（ひつじ書房、2019年）、『あまんきみこハンドブック』（東洋館出版、2019年）他多数。

子どもの本専門店「メリーゴーランド」店主

増田 喜昭（ますだ よしあき）氏 プロフィール

● 第3回安城市新美南吉絵本大賞 最終審査員

< 安城での実績 >

（1）平成4年5月13日（水）

読書推進のための講演会（市制40周年事業）



< 経歴 >

1950年三重県生まれ。1976年四日市市に子どもの本専門店「メリーゴーランド」を開く。長年、作家・画家・編集者などを招き子どもの本を考える「レクチャー」を月1回開催。また、プロの絵本作家・童話作家の養成ワークショップ「絵本塾」「童話塾」も30年近く主宰し、多くの新人作家を輩出している。活動は子どもの本にとどまらず、子ども達と作家を交えたキャンプや遊びも行っている。

また、南山大学の講師や、新聞・雑誌のコラム、ラジオ・テレビでの子どもの本紹介、講演会なども行っている。著作に『子どもの本屋、全力投球』（晶文社、1986年）、『子どもの本屋はメリーゴーランド』（晶文社、2001年）、『えほん・絵本・134冊』（学研教育みらい社、2019年）などがある。

編集者／作家

松田 素子（まつだ もとこ）氏 プロフィール

- 第3回安城市新美南吉絵本大賞 選考委員
- 第3回安城市新美南吉絵本大賞 最終審査員
- 第3回安城市新美南吉絵本大賞 大賞受賞作品 編集者

< 安城での実績 >

- (1) 令和2年2月15日（土）
読み聞かせボランティア対象スキルアップ講座の講師として講演
テーマ「絵本誕生の秘密 絵本の扉のむこう側」 受講者57名
- (2) 令和3年3月26日（金）
館内研修にて、当館スタッフ・職員へ講演
テーマ「絵本の編集とは」 受講者60名



< 経歴 >

1955年山口県生まれ。児童図書出版の偕成社にて「月刊MOE」の創刊メンバーとなり、同誌の編集長を務めた後1989年に退社。その後はフリーランスとして絵本を中心に活動。これまでに約300冊以上の本の誕生にかかわってきた。各地でのワークショップを通して新人作家の育成にもつとめており、長谷川義史、はたこうしろう、ひがしちからなど、多くの絵本作家の誕生にたちあう。また童謡「ぞうさん」で知られる詩人まど・みちおの晩年10年間にに関わり、知られざるその画業を紹介する画集も手がけた。

自然やサイエンスの分野においても、企画編集および執筆者として活動。毛利衛との共著に『宇宙をみたよ！』（偕成社、1994年）があり、自著『ながいながい骨の旅』（講談社、2017年）で2019年度の児童福祉文化賞を受賞。